

| | | | | | | | | | |
|---|---|-----|---|-------|------------------|-----|---------|------|------|
| 授業科目名 <英訳> | 社会学(特殊講義) Sociology (Special Lectures) | | | 担当者氏名 | 人文科学研究所 教授 竹沢 泰子 | | | | |
| 配当学年 | 全回生 | 単位数 | 4 | 開講期 | 通年 | 曜時限 | 金4,5 隔週 | 授業形態 | 特殊講義 |
| 題目 | 人種・エスニシティ論 | | | | | | | | |
| [授業の概要・目的] | | | | | | | | | |
| <p>グローバル化に伴う人の移動とコミュニティの再編成により、複数の文化にルーツを持つ人々の存在が注目を集めている。かつて人種ヒエラルキー維持の最大の脅威とみなされた「混血」をめぐっては、科学的言説は言うまでもなく、それを忌避するさまざまな社会言説が流通した。現代においては、社会的偏見や差別は今なお根強いものの、ミックス・レイス・ミックス・ルーツの人々が積極的に社会的承認を求めたり、自己表現をする場が可視化しつつある。ミックスというフィルターを通して過去から現在を見直すことにより、人種関係だけではなく、国民国家形成やポスト植民地主義についても従来とは異なる視座が得られることだろう。</p> <p>詳細のシラバスは、2回目に配布。1回目は登録者の関心等についてアンケート実施。</p> | | | | | | | | | |
| [授業計画と内容] | | | | | | | | | |
| <p>前期</p> <p>1～2 授業概要 #8232</p> <p>3～8 アン・ストロー 『肉体の知識と帝国の権力』を読む</p> <p>9～14 “critical mixed race studies” の最前線</p> <p>15 まとめ</p> <p>後期</p> <p>各自研究発表</p> <p>* 週毎のトピック、課題論文等の詳細は、年度初めの授業で配布するシラバスを参照</p> <p>** 上記のほか、希望者対象の大阪/神戸などへのフィールドワーク、ゲストによる講演、人文研における人種研究会セミナー等あり</p> | | | | | | | | | |
| [履修要件] | | | | | | | | | |
| 特になし | | | | | | | | | |
| [成績評価の方法・基準] | | | | | | | | | |
| レポート、発表、出席および討論 | | | | | | | | | |
| [教科書] | | | | | | | | | |
| <p>アン・ストロー 『肉体の知識と帝国の権力』（永淵康之ほか訳）以文社、2010年。 （廉価で購入できます）</p> <p>critical mixed race studies所収の論文</p> <p>その他、指定された論文を報告担当者がコピー</p> | | | | | | | | | |
| ----- 社会学(特殊講義)(2)へ続く ----- | | | | | | | | | |

社会学(特殊講義)(2)

[参考書等]

(参考書)

第一回において、アンケート回収、第二回各週の課題論文を記した詳細なシラバスを配布予定。

(その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等))

オフィスアワーは、予約制(利用者が多ければ固定時間を設ける)

シラバス上は、隔週の2限続きとなっていますが、実際は出張等を除き、ほぼ毎週授業を行っています。了承の上、履修下さい。

オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。